Ⅵ　保健・安全

1　食物アレルギー

自然の家の食事の提供は、自分で食べる量や栄養のバランスを考えて盛り付けるようにバイキング形式となっています。アレルギーの対応については、以下のような対応をとっています。必要に応じて、食堂栄養士と直接相談をすることもできますので、お問い合わせください。

団体の担当者が、アレルギー該当者の現状に詳しくない場合には、栄養・養護教諭や保護者など、アレルギーの状況を熟知した方が、確認または記載してご提出願います。

アレルゲン 28 品目については、各おかずコーナーに明記してあります。

（１）手続きの流れ

①食物アレルギー調査票の提出

利用日の２週間前までに必要事項を記入し、食堂に FAX か郵送します。また、「３ 希望対応の記載について」を確認します。用紙は自然の家ホームページでダウンロードできます。

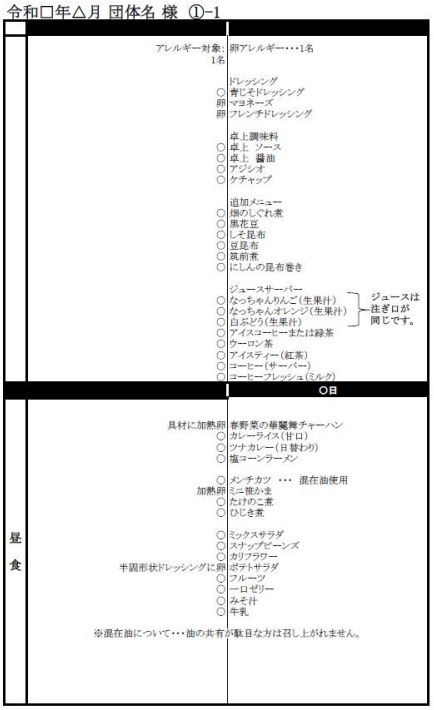
②アレルギー食材表の確認（右図参照）

食堂より、利用日のメニューにおける「アレルギー食材表」が郵送か FAX にて送られてきます。保護者・本人と引率者が利用前に食材を確認してください。

③当日の食堂利用

以下の A～C のいずれかの対応でお食事をとっていただきます。

アレルギー食材表


令和□年△月 団体名 様 ①-1

	アレルギー対象：1名	卵アレルギー‥‥1名
		ドレッシング
	○	青じそドレッシング
	卵	マヨネーズ
	卵	フレンチドレッシング
		卓上調味料
	○	卓上 ソース
	○	卓上 醤油
	○	アジシオ
	○	ケチャップ
		追加メニュー
	○	畑のしぐれ煮
	○	黒花豆
	○	しそ昆布
	○	豆昆布
	○	筑前煮
	○	にしんの昆布巻き
		ジュースサーバー
	○	なっちゃんりんご(生果汁)
	○	なっちゃんオレンジ(生果汁)
	○	白ぶどう(生果汁)
	○	アイスコーヒーまたは緑茶
	○	ウーロン茶
	○	アイスティー(紅茶)
	○	コーヒー(サーバー)
	○	コーヒーフレッシュ(ミルク)
		○日
昼食	具材に加熱卵	春野菜の華麗舞チャーハン
	○	カレーライス(甘口)
	○	ツナカレー(甘辛わり)
	○	塩コーンラーメン
	○	メンチカツ ‥‥ 混在油使用
	加熱卵	ミニ散らし
	○	たけのこ煮
	○	ひじき煮
	○	ミックスサラダ
	○	スナップビーンズ
	○	カリフラワー
	半固形状ドレッシングに卵	ポテトサラダ
	○	フルーツ
	○	ーロゼリー
	○	みそ汁
	○	牛乳
	※混在油について‥‥油の共有が駄目な方は召し上がれません。	

ジュースは注ぎ口が同じです。

（２）希望対応について　＊**食物アレルギー調査票**に記載欄あり

A 対応：食堂より送られてきた「アレルギー食材表」を見て、保護者・本人と引率者等が事前に食材を確認します。実際の利用に当たっては、本人と引率者が食材を確認しながら、本人が配膳し、食堂で食べます。

B 対応：食材によっては、アレルギー反応を起こす可能性があるので、バイキング形式で配膳せず、あらかじめ配膳されたものを、食堂のカウンターで受け取り、食堂で食べます。揚げ物の油の対応も行います（要申込）。

C 対応：食材によっては、強いアレルギー反応を起こす可能性があるので、バイキング形式で配膳せず、あらかじめフードパックに配膳されたものを引率者が食堂カウンターで受取り、別室で食べます。揚げ物の油の対応も行います。

対応できないケース

食堂の調理室は別室で調理をする環境はありません。調理器具は洗浄した後の器具を使っていますが、特定の食材専用の器具はありません。よって、小麦や卵など様々な調理器具に使用される食材や、微量でもアレルギー反応が出てしまう場合には対応できないことがあります。詳細については、食堂にご相談ください。

（３）注意事項

①　調理について

○　揚げ油は定期的に交換していますが、同じフライヤーを使用しています。

○　ゆで釜、ザル、菜箸は共用です。

②　料理の配置について

［おかずコーナー］

・大皿は隣り合っているので、隣の皿とトングが触れることもあります。

・メニューによってはアレルギー食材が隣り合っている場合もあります。

［アレルゲン 28 品目の表記］

・おかずコーナーに明記されています

※アレルゲン 28 品目

えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生
あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、
キウイ、牛肉、くるみ、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、
バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、
ゼラチン、アーモンド

『食堂メニュー』・『アレルギー調査票』は、当施設ホームページで確認できます。

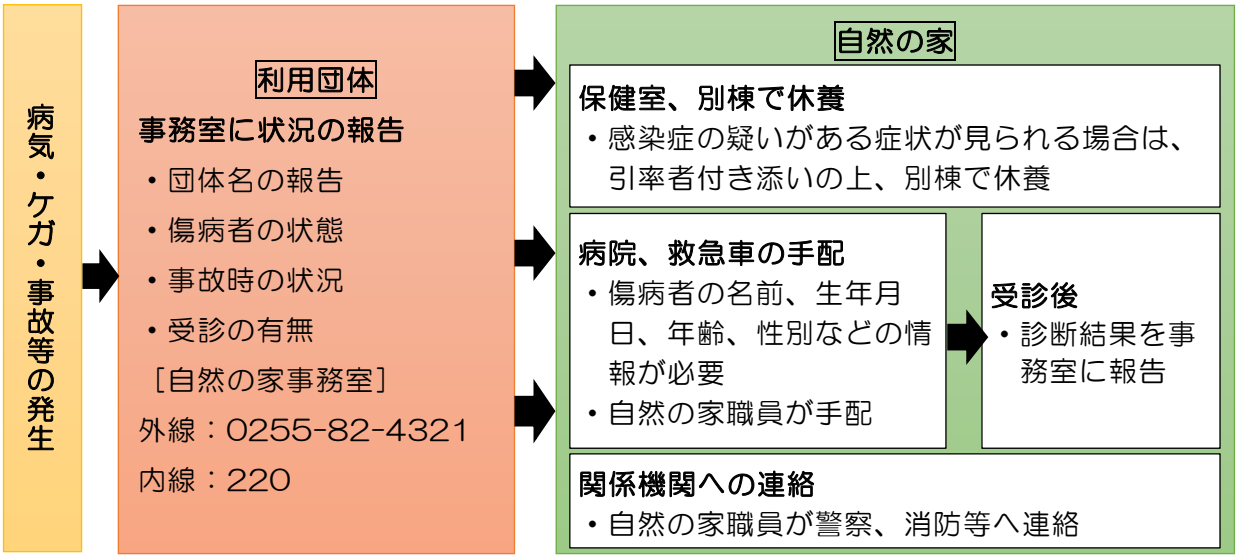
https://myoko.niye.go.jp

【トップページ　→　ご利用案内　→　食事について　→　献立表】

問い合わせ先　【食堂直通】TEL　0255-82-4185　　FAX　0255-82-4186

２　傷病者の対応

（１）対応の流れ



○　自然の家から病院までの交通手段は、団体緊急車両またはタクシーとなります。タクシーの手配は、自然の家事務室で承ります。料金は団体負担です。

○　病院には、必ず団体引率者が付き添ってください。

○　傷病者が現場から動けない等、事故現場の状況に応じて自然の家の職員の判断で救急搬送する場合があります。

例：オリエンテーリングコースや源流探険コース等の足場が悪い場所での事故

（２）感染症（インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス等）の疑いがある場合

○　「（１）対応の流れ」の通りに対応しながら、以下のことを徹底ください。

①その場から他の参加者を遠ざける。
②嘔吐物の処理、消毒については自然の家職員が行う。
③部屋の換気を行う。

○　手洗い・うがいをしたり、マスクを着用したりして、感染拡大を防ぐよう、ご協力ください。

○　感染症が疑われる場合は、別室で宿泊していただきます。

（３）保健室

○　自然の家事務室に保健室があります。体調不良、受診までの休養等でご利用いただけます。

○　冷蔵保存が必要な常備薬をお預かりできます。

○　氷枕や絆創膏等を用意しています。

○　車いす（２台）、松葉杖の貸出ができます。

○　利用時は必ず引率の方が付き添うようにしてください。

３　安全管理

（１）施設における安全管理

①　宿泊棟からの避難経路を確認します。

②　貴重品の管理は、各団体でお願いします。コインロッカー等をご利用ください。

- 各宿泊棟リーダールームの金庫
  ※リーダールーム使用団体のみ
- 100 円リターン式コインロッカー
  ※本館大浴場前、自然の家事務室前

リーダールーム金庫

コインロッカー

③　屋外での活動の際は、必ず宿泊棟入口の施錠をお願いします。

- 宿泊棟の鍵は、紛失防止のため、敷地外に出られる際は、自然の家事務室にお預けください。

④　不審者・不審物を発見した場合、事務室に連絡をお願いします。

- 館内に、防犯カメラを設置しています。

（２）野外活動における安全管理

［通年］

○　引率者は、必ず活動前に活動場所の下見をしてください。

○　屋外での活動場所の急な変更はできません。

- 気象、積雪状況等に応じ、活動内容・場所の変更をお願いする場合があります。

○　各活動の安全管理については、プログラムシートで確認してください。

［夏季］

○　熊、蜂、マダニ、ウルシ等の危険生物に対する注意喚起をしてください。

- オリエンテーリングコース等、森の中で活動する際は、単独で行動しないでください。
- 熊鈴を身に付けてください。（熊鈴は、自然の家にて貸出しています。）
- 森の中で活動する場合、長そで、長ズボンを着用してください。

［冬季］

○　屋根からの落雪、転落等危険箇所の確認をお願いします。

- ネットや竹竿が設置されています。

○　出入り口付近の凍結、融雪による転倒に注意してください。

○　屋内に入る際にウェア等に付着した雪を払い落としてください。

- 屋外の活動場所の急な変更はできません。（早朝に圧雪、点検を行うため。）

※　気象条件や積雪状況によって、活動内容や活動場所の変更をお願いすることがあります。